

## 第3回 大阪科学賞 昭和60年度(1985年度)

受賞者氏名： 山田 龍作(やまだ りゅうさく)

所属(受賞時)： 和歌山県立医科大学 教授

業績： 肝細胞癌に対する肝動脈塞栓療法の開発

大阪科学賞受賞の対象となった研究「肝細胞癌に対する肝動脈塞栓療法」は、わが国だけでなく世界中に普及することになり、その治療効果は肝臓癌全体の予後を改善し、肝癌はその病態を変えたと言われている。また、その適応の広さと、優れた治療成績、低侵襲性は治療医学全般に大きな影響を与え、低侵襲性外科手術、血管内治療法、“切らない手術”、内視鏡手術、インターベンショナル・ラディオロジーなど呼稱される。新しい低侵襲性治療法の発達と普及の端緒となった。

なお、肝動脈塞栓療法の際に用いられるスパーセレクトィブガイドワイヤーの開発により、新技術開発事業団より“井上春成賞”を受賞し、国際IVR学会より金賞を受賞した。